

高校生・大学生 アルバイト実態調査2006

Contents

Thema-1[高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

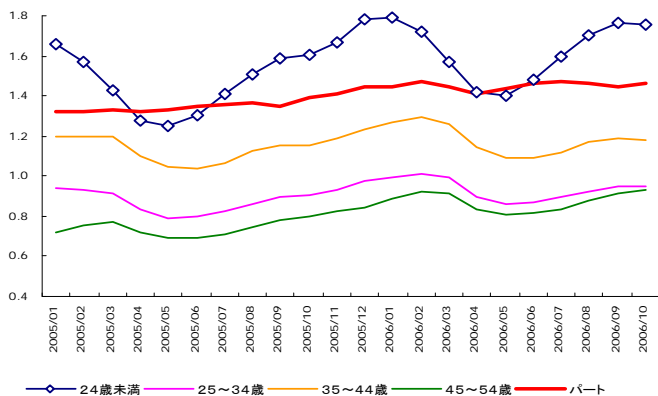
第1章	高校生・大学生のアルバイト実態		
	・ 調査結果概要	-----	3
1.	アルバイト就労経験	-----	4
2.	アルバイト未就労者～アルバイト探し状況～	-----	4
3.	[現在のアルバイト] 職種	-----	5
4.	[現在のアルバイト] その勤務地を選んだ理由	-----	6
5.	[現在のアルバイト] 勤務期間	-----	6
6.	[現在のアルバイト] 勤務頻度	-----	7
7.	[現在のアルバイト] 勤務時間	-----	7
8.	[現在のアルバイト] 時給	-----	8
9.	[現在のアルバイト] 選択理由	-----	9
10.	[希望のアルバイト] 職種	-----	10
11.	[希望のアルバイト] 勤務地	-----	11
12.	[希望のアルバイト] 勤務期間	-----	11
13.	[希望のアルバイト] 勤務頻度	-----	12
14.	[希望のアルバイト] 勤務時間	-----	12
15.	[希望のアルバイト] 時給	-----	13
16.	[希望のアルバイト] アルバイトを決めるときに重視すること	-----	14
17.	(アルバイト未就労者)アルバイトをしない理由	-----	15
18.	アルバイトに対する考え方	-----	15
第2章	フリーターについて		
1.	フリーター意向	-----	16
2.	フリーターになりたい理由	-----	16
第3章	高校生・大学生のライフスタイル		
1.	1カ月あたりの自由になるお金	-----	17
2.	普段よく利用する情報メディア	-----	17

2006年12月19日発行 NO.012

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

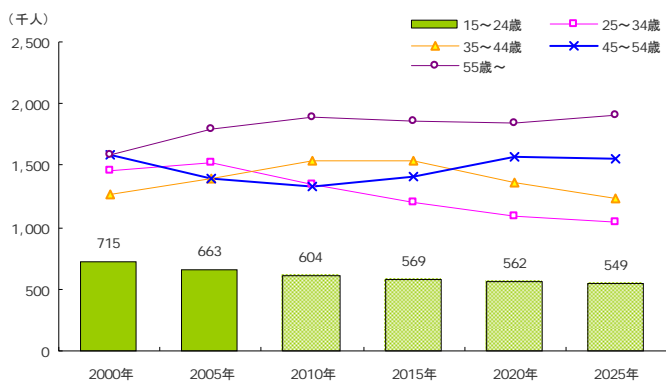
労働力不足が蔓延、増加し続ける人件費・採用コスト。高校生・大学生アルバイトの動向や希望のアルバイト像を知り効果的な募集計画を実現する。

Graph1. 年齢別有効求人倍率(実数※一般+パート)及びパート有効求人倍率(季節調整値)



※厚生労働省「一般職業紹介状況」2006年10月

Graph2. 性、年齢(5歳階級)別労働力人口の将来推計



※国立社会保障・人口問題研究所『日本の将来推計人口』(平成14年1月推計)

慢性的な労働力不足・採用難が続いている。厚生労働省「一般職業紹介状況」(2006年10月)によると、アルバイト(パート)の有効求人倍率(季調値)は1.46倍と、高い水準で推移し続けている。特にフードや販売、サービスなど、アルバイトの力によるところが大きい職種において問題は更に深刻で、中には店舗の新規出店・維持存続にまで影響を及ぼすケースも散見される。アルバイト募集賃金は去年2005年頃から急速に上昇しており、採用コスト・賃金の増加が大きな負担となっている。

また、この労働力不足に更に拍車をかけるのが現在の少子化問題で、これは将来の若年層の労働力人口の減少を意味している。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」(平成14年1月推計)によると、24歳以下の労働力人口は2015年には60万人を割り、以降も減少し続けるという調査結果が出ており、今後更なる労働力不足が到来することは明らかなものとなっている。

こうした需要超過の中、この度株式会社インテリジェンスでは、効率的なアルバイトの採用活動に資するべく、学生及びフリーターを中心にアルバイトに対する就労意識・実態について調査を行った。

今回のレポートでは、高校生・大学生アルバイトについて現在のアルバイト状況や勤務スタイル、また希望のアルバイトについて調査結果をまとめた。(フリーター編は次号でレポート)

【調査概要】

- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査対象 : 関東・東海・関西圏在住の高校生・大学生男女480名
- 調査期間 : 2006年11月

※関東圏 : 東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県
 東海圏 : 愛知県・岐阜県
 関西圏 : 大阪府・京都府・兵庫県

□回答者数内訳

	高校生		大学生		合計
	男子	女子	男子	女子	
関東圏	40	40	40	40	160
東海圏	40	40	40	40	160
関西圏	40	40	40	40	160
	120	120	120	120	

2006年12月19日発行 NO.012

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

【調査結果概要】

	高校生男子		高校生女子		大学生男子		大学生女子	
現在の職種	1位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 22.2%	一般の飲食店の店員 17.0%	家庭教師・塾講師・試験監督 22.3%	家庭教師・塾講師・試験監督 13.9%			
	2位	事務・資料整理・データ入力 11.1%	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 11.3%	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 17.0%	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 6.1%			
	3位	引越・運送業、新聞・新聞配達員、倉庫・農場・牧場作業 8.3%	ファーストフード店の店員 11.3%	倉庫・農場・牧場作業員 6.4%	ファーストフード店の店員 一般の飲食店の店員			
現在の勤務地を選んだ理由	1位	自宅に近かったから 83.3%	自宅に近かったから 66.7%	自宅に近かったから 69.2%	自宅に近かったから 68.5%			
	2位	通学途中で通うのに便利 10.0%	通学途中で通うのに便利 22.9%	学校に近かったから 14.3%	通学途中で通うのに便利 19.4%			
	3位	希望する仕事がある勤務地にあったから 6.7%	学校に近かったから 20.8%	通学途中で通うのに便利 12.1%	学校に近かったから 17.6%			
勤務期間	1位	2~3ヶ月位 22.2%	2~3ヶ月位 22.6%	1年以上 37.2%	1年以上 33.0%			
	2位	4~5ヶ月位 19.4%	6ヶ月~1年未満 20.8%	6ヶ月~1年未満 20.2%	6ヶ月~1年未満 20.0%			
	3位	1週間以内/2~3週間以内 13.9%	2~3週間以内 17.0%	1ヶ月位/4~5ヶ月位 11.7%	4~5ヶ月位 13.0%			
現在勤務日数	3.1日		3.0日		2.8日		3.0日	
現在勤務時間	4.9時間		5.0時間		5.2時間		5.1時間	
現在の時給	829.0円		806.5円		1,172.6円		1,059.9円	
希望職種	1位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 38.9%	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 42.9%	家庭教師・塾講師・試験監督 27.0%	書店の店員 34.1%			
	2位	書店の店員 30.2%	喫茶店・カフェのウェイトラー・ウェイトレス 35.7%	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 20.6%	事務・資料整理・データ入力 32.5%			
	3位	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員 23.8%	書店の店員 34.1%	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員 19.8%	薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等の店員 21.4%			
希望の勤務地	1位	自宅に近い 78.6%	自宅に近い 77.0%	自宅に近い 69.0%	自宅に近い 69.0%			
	2位	学校など普段通っている場所に近い場所 17.5%	学校など普段通っている場所に近い場所 34.1%	学校など普段通っている場所に近い場所 27.8%	学校など普段通っている場所に近い場所 31.0%			
	3位	通学途中で通うのに便利な場所 16.7%	通学途中で通うのに便利な場所 24.6%	ターミナル駅 21.4%	好きな街 27.8%			
希望勤務期間	1位	1年以上 22.2%	1年以上 27.0%	2~3ヶ月位 23.0%	6ヶ月~1年未満 26.2%			
	2位	2~3ヶ月位 20.6%	2~3ヶ月位 20.6%	1年以上 21.4%	2~3ヶ月位 20.6%			
	3位	1ヶ月位 17.5%	6ヶ月~1年未満 18.3%	6ヶ月~1年未満 19.8%	1年以上 19.8%			
希望勤務日数	3.2日		3.1日		2.6日		2.8日	
希望勤務時間	4.2時間		4.4時間		5.0時間		5.0時間	
希望の時給	900.6円		867.5円		1,105.5円		1,043.2円	

総合人材サービスを展開する株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役 社長執行役員:鎌田和彦)では、求人・求職者のライフスタイル、意識の変化、また人材採用・戦力化、等の各種アンケート調査を自社事業・サービスを通じて定期的に行っています。労働統計等の資料と併せ、毎月一回「HRレポート」として発表をしています。

株式会社インテリジェンス 経営企画統括部 広報部 E-mail:pr@inte.co.jp

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

第1章 高校生・大学生のアルバイト実態

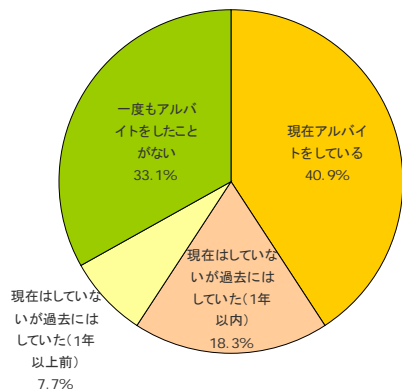
1. アルバイト就労経験

高校生4割、大学生は9割がアルバイト就労経験あり。

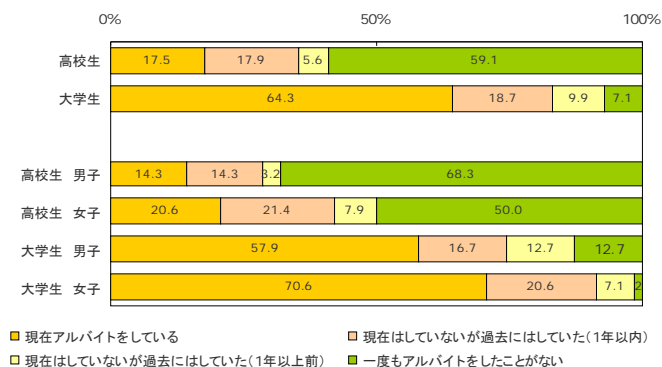
現在のアルバイト状況を聞いてみたところ、40.9%の人が現在アルバイトをしていると回答している。また、現在はしていないが過去に経験したことがあるという人（「現在はしていないが過去にはしていた（1年以内/1年以上）」）は26.0%を占め、全体の約7割の人は何らかのアルバイトを経験しているようだ。

属性別に見てみると、高校生は約4割の人がアルバイト経験を持っているが、男女の差が大きく、女子だけで見るとアルバイト経験率は約半数に上る。大学生は、「現在アルバイトをしている」が64.3%で最も多く、「現在はしていないが過去にはしていた（1年以内/1年以上）」を合わせると、殆どの人がアルバイトを経験しているようだ。また、大学生も女子の方がアルバイト経験率が高い傾向が見られる。

Graph1. 現在アルバイト就労状況



Graph1-1. 現在アルバイト就労状況 <属性・性別> (単位:%)



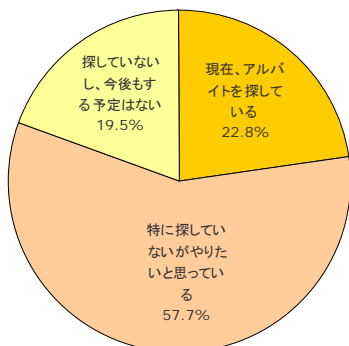
2. アルバイト未就労者～アルバイト探し状況～

現在アルバイトをしていなくても就労意向は高い。

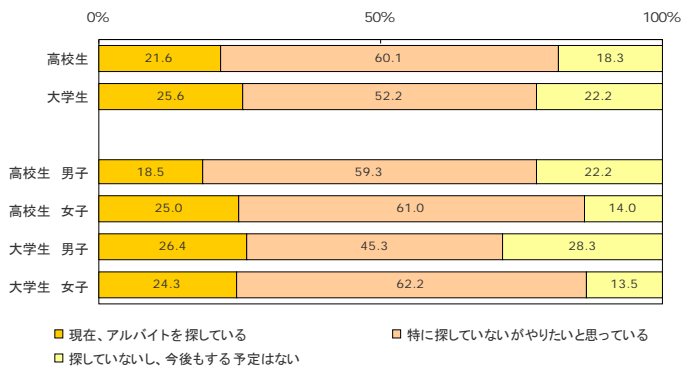
「1. アルバイト就労状況」で、「現在はアルバイトをしていない」「一度もアルバイトをしたことがない」と回答した人に、現在アルバイトを探しているかどうかを聞いてみると、「現在、アルバイトを探している」という人が22.8%、「特に探していないがやりたいと思っている」が57.7%と、アルバイト意向のある人は全体の8割を占めている。

属性別で見ても、「現在アルバイトを探している」「特に探していないがやりたいと思っている」を合わせると過半数を占め、特に女子は高校生・大学生とも8割以上とアルバイト意向が強くなっている。

Graph2. (アルバイト未就労者)アルバイト探し状況

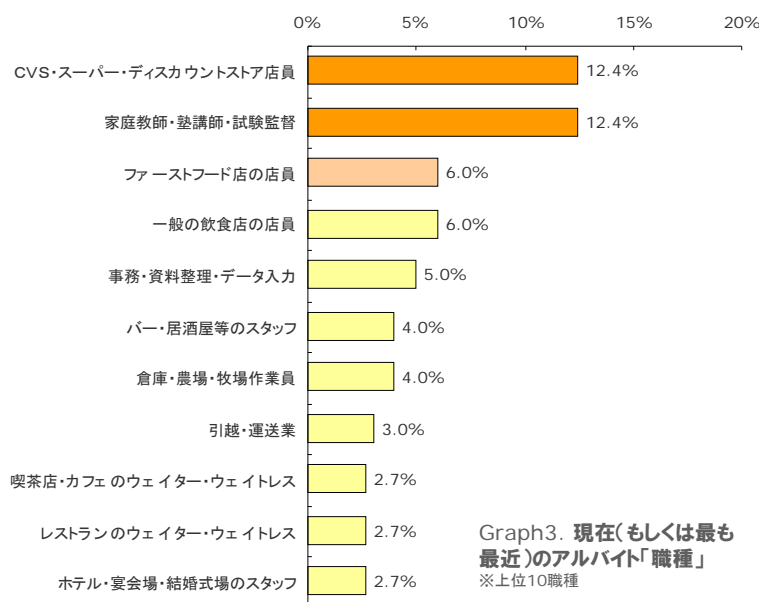


Graph2-1. (アルバイト未就労者)アルバイト探し状況 <属性・性別> (単位:%)



Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

3. [現在(もしくは最も最近の)アルバイト] 職種

高校生は「コンビニエンスストア・スーパー・ディスカウントストア」、
大学生は「家庭教師・塾講師・試験監督」

アルバイト経験者に、現在もしくは最も最近のアルバイトの職種について聞いてみたところ、「コンビニエンスストア・スーパー・ディスカウントストア」と「家庭教師・塾講師・試験監督」が同率で最も就業者(就労経験者)が多く、次いで「ファーストフード店の店員」「一般の飲食店の店員」(同率6.0%)という結果になった。

属性別で見ると、高校生男子は「コンビニエンスストア・スーパー・ディスカウントストア」のアルバイトをしている人が22.2%で最も多く、高校生女子は「一般の飲食店の店員」(17.0%)が多い。

大学生は男女共に「家庭教師・塾講師・試験監督」が最も多く、次いで「コンビニエンスストア・スーパー・ディスカウントストア」となっている。

その他の特徴を挙げると、男子は「事務・資料整理・データ入力」や「倉庫・農場・牧場作業員」の就業者が多く、女子は「ファーストフード」や「一般の飲食店の店員」「レストランのウェイトレス」など、フード系職種の就業者が多くなっている。

[表3] 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「職種」 ※上位10職種 (単位: %)

高校生男子		高校生女子		大学生男子		大学生女子	
1位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 22.2	1位	一般の飲食店の店員 17.0	1位	家庭教師・塾講師・試験監督 22.3	1位	家庭教師・塾講師・試験監督 13.9
2位	事務・資料整理・データ入力 11.1	2位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 ファーストフード店の店員 11.3	2位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 17.0	2位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員 ファーストフード店の店員 一般の飲食店の店員 6.1
3位	倉庫・農場・牧場作業員 引越・運送業 新聞・郵便配達員 8.3	4位	喫茶店・カフェのウェイトレス 9.4	3位	倉庫・農場・牧場作業員 6.4		
		5位	レストランのウェイトレス 5.7	4位	事務・資料整理・データ入力 バー・居酒屋等のスタッフ 5.3		
6位	飲食店厨房スタッフ 5.6	6位	倉庫・農場・牧場作業員 ホテル・宴会場・結婚式場のスタッフ 食品加工・製本作業 チラシ・サンプル配り 3.8	6位	ファーストフード店の店員 引越・運送業 飲食店厨房スタッフ イベントスタッフ 4.3	6位	事務・資料整理・データ入力 デパート販売員 レストランのウェイトレス ウェイトレス 薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等店員 4.3
7位	一般の飲食店の店員 ファーストフード店の店員 バー・居酒屋等のスタッフ 薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等店員 2.8						

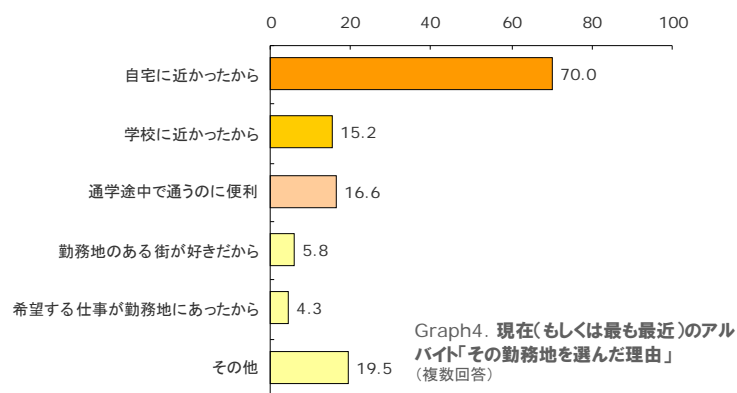
Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

4. 【現在(または最も最近)のアルバイト】勤務地を選んだ理由

現在のアルバイトの勤務地を決めた理由は、「自宅に近かったから」

現在(もしくは最も最近)のアルバイトの勤務地について、その場所を選んだ理由を聞いてみると、最も回答が多かったのが「自宅に近かったから」(70.0%)であった。次いで「通学途中で通うのに便利」(16.6%)、「学校に近かったから」(15.2%)、「勤務地のある街が好きだから」(5.8%)、「希望する仕事が勤務地にあったから」(4.3%)となった。大部分の学生は自宅近くを中心とした自分の生活エリア圏内でアルバイトをしているようだ。

属性別で見ても、全ての属性で「自宅に近かったから」が最も多くなっている。特に高校生男子は8割以上が自宅に近いエリアで働いているようだ。その他の特徴を挙げると、大学生は高校生に比べ生活エリアが広がるためか、「通学途中」や「勤務地のある街が好き」など、自宅の近く以外のエリアで働いている人も多い。



[表4] 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「その勤務地を選んだ理由」(複数回答/単位: %)

	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
自宅に近かったから	83.3	66.7	69.2	68.5
学校に近かったから	-	20.8	14.3	17.6
通学途中で通うのに便利	10.0	22.9	12.1	19.4
勤務地のある街が好きだから	3.3	2.1	7.7	6.5
希望する仕事が勤務地にあったから	6.7	6.3	2.2	4.6
その他	13.3	20.8	24.2	16.7

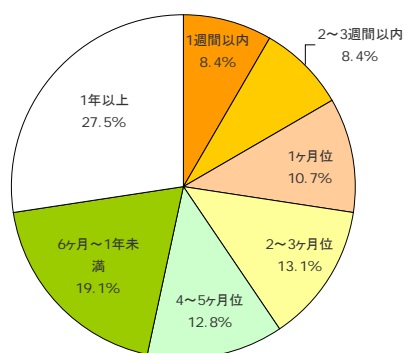
5. 【現在(または最も最近)のアルバイト】勤務期間

現在のアルバイトの勤務期間は半年～1年以上がボリュームゾーン。

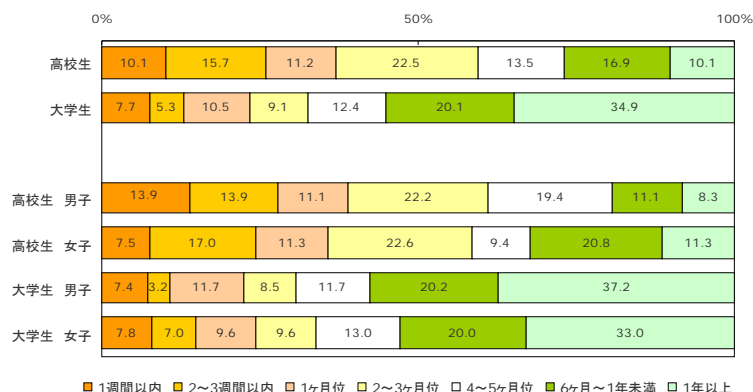
現在、もしくは最も最近のアルバイトを始めてから今までの勤務期間について聞いてみると(最も最近のアルバイトについては始めてから辞めるまでの期間)、「1年以上」という人が27.5%で最も多く、次いで「6ヶ月～1年未満」(19.1%)、「2～3ヶ月位」(13.1%)と続いている。半年以上勤務している人の割合は全体の約半数を占めており、比較的長期間働いている人が多いようだ。

高校生は特にボリュームゾーンとなっている勤務期間はないが、3ヶ月以内のアルバイトをしている人の割合が6割近くを占めており、比較的短期間のアルバイトをしているようだ。逆に大学生は「1年以上」の割合が最も高く(34.9%)、次いで「6ヶ月～1年未満」(20.1%)と、半年以上勤務している人が半数以上を占めており、長期間働いている人が多い。

Graph5. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務期間」



Graph5-1. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務期間」 <属性・性別> (単位: %)



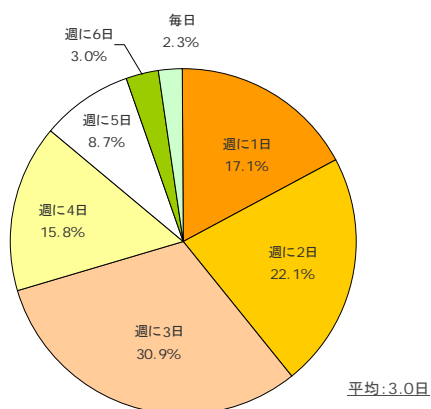
Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

6. 【現在(または最も最近)のアルバイト】 勤務日数

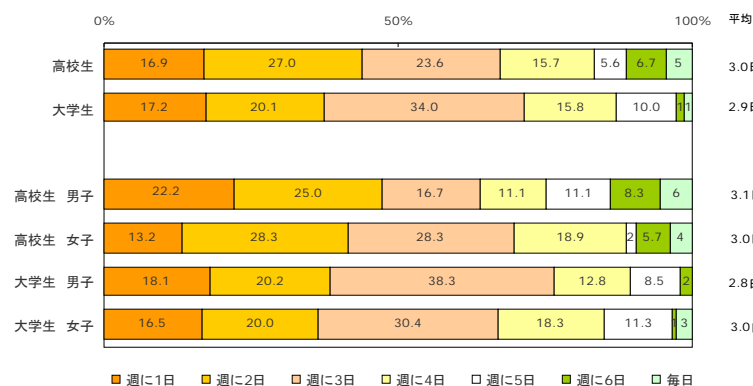
1週間あたりの勤務日数は、平均3.0日

1週間あたりの勤務日数は、「週に3日」が30.9%で最も多く、次いで「週に2日」が22.1%、「週に1日」(17.1%)の順となっている。平均勤務日数は3.0日であった。高校生と大学生とでは週当たりの勤務日数に大きな違いは見られず、高校生の平均勤務日数は3.0日、大学生は2.9日となっている。

Graph6. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務日数」



Graph6-1. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務日数」 <属性・性別> (単位: %)

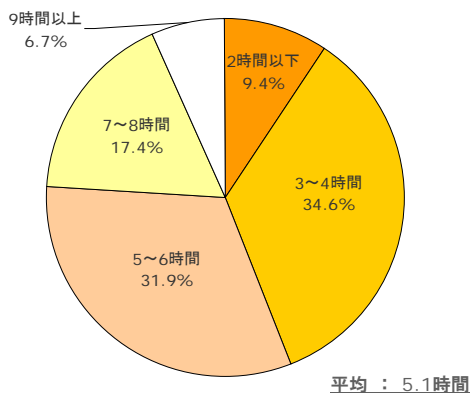


7. 【現在(または最も最近)のアルバイト】 勤務時間

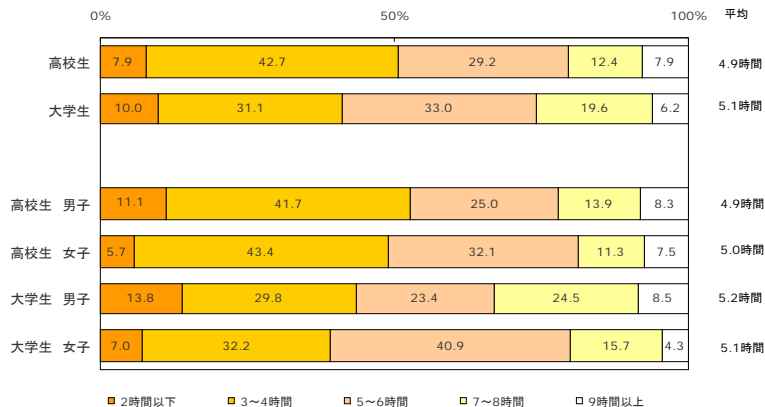
アルバイト勤務時間は1日平均5.1時間。

1日あたりの勤務時間は、「3～4時間」という人が34.6%で最も多く、次いで「5～6時間」が31.9%となっている。平均勤務時間は5.1時間。属性別に見ると、高校生は「3～4時間」、大学生は「3～4時間」「5～6時間」がボリュームゾーンとなっているが、大学生は7時間以上のフルタイム勤務をしている人の割合が高校生に比べ多く、平均勤務時間は高校生4.9時間、大学生5.1時間と、大学生の方が長時間勤務となっている。属性別に見ると、最も勤務時間が長いのは大学生男子で、7時間以上のフルタイム勤務をしている人が全体の3割を占め、平均勤務時間は5.2時間と他の層に比べ長くなっている。

Graph7. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務時間」



Graph7-1. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「勤務時間」 <属性・性別> (単位: %)



2006年12月19日発行 NO.012

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

8. 【現在(または最も最近)のアルバイト】 時給

高校生の時給は815円。大学生は1,110円。

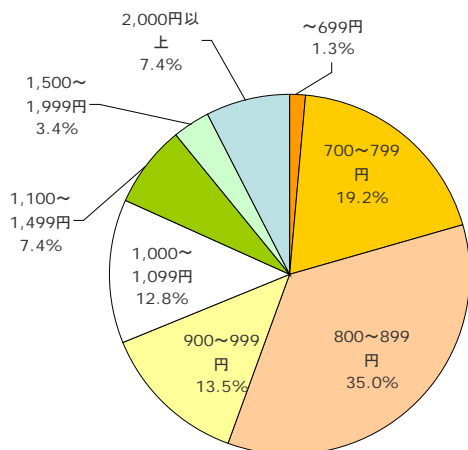
現在のアルバイトの時給は、高校生と大学生とでは大きく異なっている。

高校生は、「700～799円」「800～899円」がボリュームゾーンとなっており、平均時給は815.6円。大学生は「800～899円」(32.7%)が最も多くなっているものの、1,000円以上の人も多く、平均時給は1,110.3円と、高校生に比べ300円近くも高い。

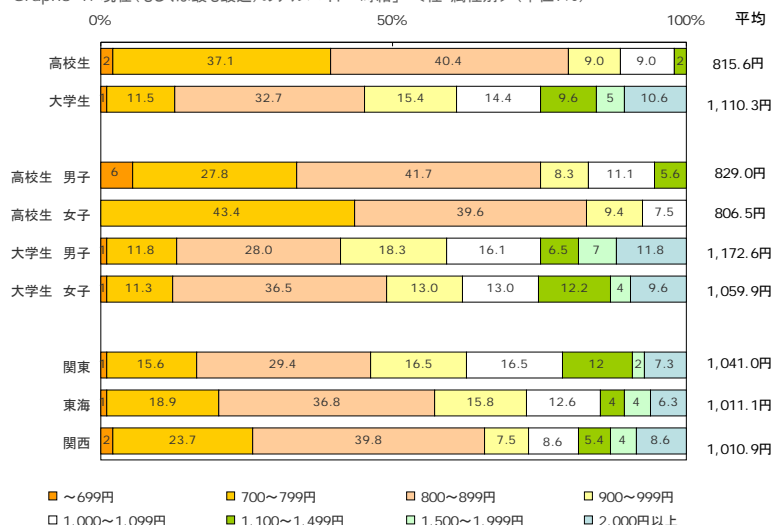
その他、男子は女子に比べ時給が高く、最も時給が低い層は高校生女子で829.0円、逆に最も高いのは大学生男子で1,172.6円であった。やはり、平均時給の低いフード系の就業率が高い層は平均時給が低い結果となっている。

エリア別で見ると、最も時給が高いのは関東エリア居住者で平均1,041円、次いで東海1,011.1円、関西1,010.9円の順となっている。

Graph8. 現在(または最も最近)のアルバイト「時給」



Graph8-1. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「時給」 <性・属性別> (単位: %)



[表8] 現在(または最も最近)のアルバイト 職種別時給 ※トップ15 該当者5人以上の職種のみ表示

職種別の平均時給を見てみると(該当者5人以上の職種のみ)、最も高いのは「家庭教師・塾講師・試験監督」で1,838円。次いで「バー・居酒屋等のスタッフ」が1,261円、「チラシ・サンプル配り」1,200円の順となっている。上位2職種は、大学生の中に働いている人が多く、そのため大学生全体の平均時給を押し上げている。

順位	職種	平均	最小	最大
1	家庭教師・塾講師・試験監督	¥1,838	¥850	¥3,500
2	バー・居酒屋等のスタッフ	¥1,261	¥850	¥5,000
3	チラシ・サンプル配り	¥1,200	¥900	¥2,000
4	ホテル・宴会場・結婚式場のスタッフ	¥963	¥800	¥1,200
5	引越・運送業	¥953	¥800	¥1,200
6	食べ物テイクアウト店のスタッフ	¥910	¥820	¥1,000
7	デパート販売員	¥907	¥800	¥1,150
8	事務・資料整理・データ入力	¥907	¥600	¥1,200
9	レストランのウェ이터・ウェイトレス	¥885	¥700	¥1,300
10	食品加工・製本作業	¥867	¥800	¥1,000
11	倉庫・農場・牧場作業員	¥862	¥700	¥1,100
12	飲食店厨房スタッフ	¥843	¥720	¥950
13	一般の飲食店の店員	¥830	¥720	¥1,000
14	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス	¥814	¥750	¥850
15	コンビニエンスストア・スーパー・ディスカウントストア店員	¥806	¥680	¥1,000

2006年12月19日発行 NO.012

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

9. 【現在(または最も最近)のアルバイト】 選択理由

アルバイト選択の決め手は、「勤務地が通いやすい場所にあった」「時給がよかった」「勤務時間帯があっていた」

現在(もしくは最も最近)のアルバイトを決めた理由を聞いてみると、「勤務地が通いやすい場所にあった」が36.6%で最も回答が多くなっている。次いで「時給(給与)がよかったから」が33.9%、「勤務時間帯があっていたから」(26.8%)、「1日の勤務時間が合っていたから」(25.8%)となっている。

勤務地や時給(給与)以外に、勤務期間や日数などの勤務スタイルが合っていたことが決め手になった人も多いようだ。

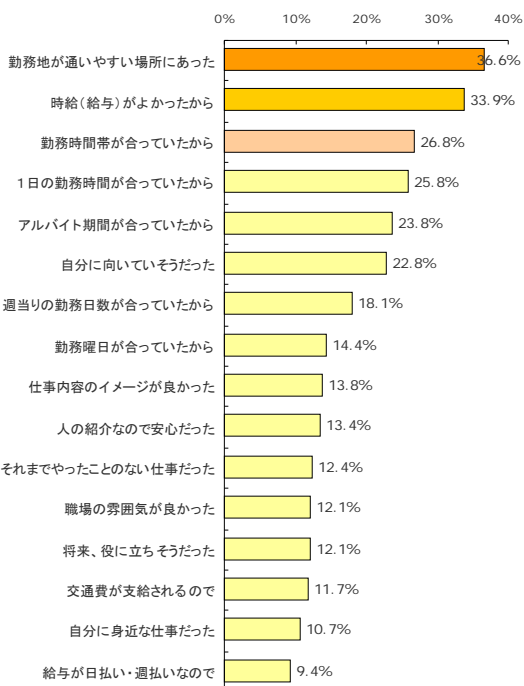
属性別に見てみると、男子は「勤務地」より「時給(給与)」が、逆に女子は「時給(給与)」よりも、「勤務地」の方がアルバイト選択時の決め手になったという人の割合が高くなっている。

[表9-1] 現在(または最も最近)のアルバイト「選択理由」 <属性・性別> ※上位5項目

	高校生男子		高校生女子	
1位	アルバイト期間が合っていたから	27.8%	勤務地が通いやすい場所だった	35.8%
2位	時給(給与)がよかったから	22.2%	時給(給与)がよかったから	34.0%
3位	1日の勤務時間が合っていたから		アルバイト期間が合っていたから	30.2%
4位	勤務地が通いやすい場所だったから	16.7%	勤務時間帯が合っていたから	20.8%
5位	勤務時間帯があっていたから		給与が日払い・週払いなので	

	大学生男子		大学生女子	
1位	時給(給与)がよかったから	37.2%	勤務地が通いやすい場所だった	47.0%
2位	勤務地が通いやすい場所だった	31.9%	時給(給与)がよかったから	34.8%
3位	勤務時間帯が合っていたから	27.7%	勤務時間帯が合っていたから	32.2%
4位	1日の勤務時間が合っていたから		1日の勤務時間が合っていたから	31.3%
5位	アルバイト期間が合っていたから	25.5%	自分に向いていそうだったから	28.7%

Graph9. 現在(もしくは最も最近)のアルバイト「そのアルバイトを選んだ理由」(複数回答)



[表9] 現在(もしくは最も最近のアルバイト)「そのアルバイトを選んだ理由」(複数回答/単位:%)

注) “-”は該当なし

	全体	高校生男子	高校生女子	大学生男子	大学生女子
勤務地が通いやすい場所にあった	36.6	16.7	35.8	31.9	47.0
時給(給与)がよかったから	33.9	22.2	34.0	37.2	34.8
勤務時間帯が合っていたから	26.8	16.7	20.8	27.7	32.2
1日の勤務時間が合っていたから	25.8	22.2	13.2	27.7	31.3
アルバイト期間が合っていたから	23.8	27.8	30.2	25.5	18.3
自分に向いていそうだった	22.8	11.1	20.8	21.3	28.7
週当りの勤務日数が合っていたから	18.1	5.6	11.3	20.2	23.5
勤務曜日が合っていたから	14.4	11.1	11.3	12.8	18.3
仕事内容のイメージが良かった	13.8	5.6	17.0	8.5	19.1
人の紹介なので安心だった	13.4	13.9	9.4	19.1	10.4
それまでやったことのない仕事だった	12.4	5.6	11.3	9.6	17.4
職場の雰囲気が良かった	12.1	5.6	11.3	7.4	18.3
将来、役に立ちそうだった	12.1	8.3	13.2	10.6	13.9
交通費が支給されるので	11.7	5.6	3.8	11.7	17.4
自分に身近な仕事だった	10.7	8.3	9.4	13.8	9.6
給与が日払い・週払いなので	9.4	16.7	13.2	8.5	6.1
誰でもできそうな仕事だった	9.4	11.1	7.5	9.6	9.6
会社の規模が大きかった、知名度が高かった	9.1	5.6	13.2	7.4	9.6
長い間勤められそうだった	8.7	5.6	3.8	6.4	13.9
勤務地のイメージが良かった	8.1	2.8	15.1	4.3	9.6

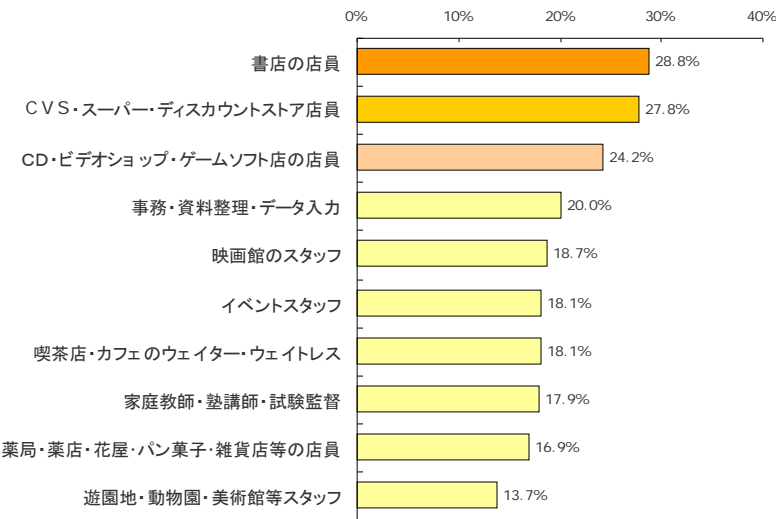
2006年12月19日発行 NO.012

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

10. 【希望のアルバイト】 職種

希望は「書店」「コンビニエンスストア・スーパー」「CD・ビデオショップ・ゲームソフト店」

Graph10. 希望のアルバイト「職種」(複数回答)



希望のアルバイトの職種を上げてもらったところ、「書店の店員」が28.8%で最も多く、次いで「CVS・スーパー・ディスカウントストア店員」が27.8%、「CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員」(24.2%)、「事務・資料整理・データ入力」(20.0%)の順に人気が高いようだ。

「CVS・スーパー・ディスカウントストア店員」など、実際に働いている人が多い職種が上位に上がっている反面、「書店」「映画館スタッフ」「イベントスタッフ」「遊園地・動物園・美術館等スタッフ」など、実際に働いている人が少ない職種の希望者も多く、理想と現実が入り混じった結果となっている。高校生は男女共に「CVS・スーパー・ディスカウントストア店員」が希望職種のトップに挙がっており、次いで男子は「書店の店員」が、女子は「喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス」となっている。大学生は、男子のトップが「家庭教師・塾講師・試験監督」(27.0%)、女子のトップは「書店の店員」(34.1%)となっている。実際に大学生の就労経験アルバイトでトップだった「家庭教師・塾講師・試験監督」は、大学生女子では5位(19.8%)と、希望と現実ギャップが見られる。

[表10]希望のアルバイト「職種」(複数回答/単位:%) ※上位15職種

高校生男子			高校生女子			大学生男子			大学生女子		
1位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員	38.9%	1位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員	42.9%	1位	家庭教師・塾講師・試験監督	27.0%	1位	書店の店員	34.1%
2位	書店の店員	30.2%	2位	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス	35.7%	2位	CVS・スーパー・ディスカウントストア店員	20.6%	2位	事務・資料整理・データ入力	32.5%
3位	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員	23.8%	3位	書店の店員	34.1%	3位	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員	19.8%	3位	薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等の店員	21.4%
4位	映画館のスタッフ	15.9%	4位	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員	32.5%	4位	事務・資料整理・データ入力	18.3%	4位	CD・ビデオショップ・ゲームソフト店の店員	20.6%
5位	イベントスタッフ	15.1%	5位	薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等の店員	30.2%	5位	書店の店員	16.7%	5位	家庭教師・塾講師・試験監督 映画館のスタッフ	19.8%
6位	事務・資料整理・データ入力	14.3%	6位	イベントスタッフ	27.8%	6位	映画館のスタッフ	14.3%	7位	遊園地・動物園・美術館等スタッフ	19.8%
7位	家電・パソコン・携帯電話販売店の店員	13.5%	7位	映画館のスタッフ	24.6%	7位	家電・パソコン・携帯電話販売店の店員	13.5%	8位	イベントスタッフ	19.0%
8位	家庭教師・塾講師・試験監督	12.7%	8位	レストランのウェ이터・ウェイトレス	23.8%	8位	アンケート・交通量調査員	11.9%	9位	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス	18.3%
9位	エキストラ ゲームセンター・パチンコ・カラオケBOXスタッフ	11.1%	9位	一般の飲食店の店員	19.0%	9位	イベントスタッフ	10.3%	10位	受付	15.9%
10位			10位	遊園地・動物園・美術館等スタッフ ファーストフード店の店員	18.3%	10位	一般の飲食店の店員	9.5%	11位	バー・居酒屋等のスタッフ	13.5%
11位	一般の飲食店の店員 プログラマー・システムエンジニア 新聞・郵便配達員	10.3%	11位	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス 薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等の店員 バー・居酒屋等のスタッフ プログラマー・システムエンジニア	8.7%	11位	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス 薬局・薬店・花屋・パン菓子・雑貨店等の店員 バー・居酒屋等のスタッフ プログラマー・システムエンジニア	8.7%	12位	チラシ・サンプル配り	12.7%
12位	事務・資料整理・データ入力	15.1%	12位	事務・資料整理・データ入力	15.1%	12位	アンケート・交通量調査員	11.9%	13位	制作・編集・設計等アシスタント レストランのウェ이터・ウェイトレス	11.1%
13位	デパート販売員 食べ物テイクアウト店のスタッフ 受付	13.5%	13位	デパート販売員 食べ物テイクアウト店のスタッフ 受付	13.5%	13位	遊園地・動物園・美術館等スタッフ	7.9%	14位		
14位	喫茶店・カフェのウェ이터・ウェイトレス レストランのウェ이터・ウェイトレス	9.5%	14位			14位					

総合人材サービスを展開する株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役 社長執行役員:鎌田和彦)では、求人・求職者のライフスタイル、意識の変化、また人材採用・戦力化、等の各種アンケート調査を自社事業・サービスを通じて定期的に実施。労働統計等の資料と併せ、毎月一回「HRレポート」として発表をしています。

株式会社インテリジェンス 経営企画統括部 広報部 E-mail:pr@inte.co.jp

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

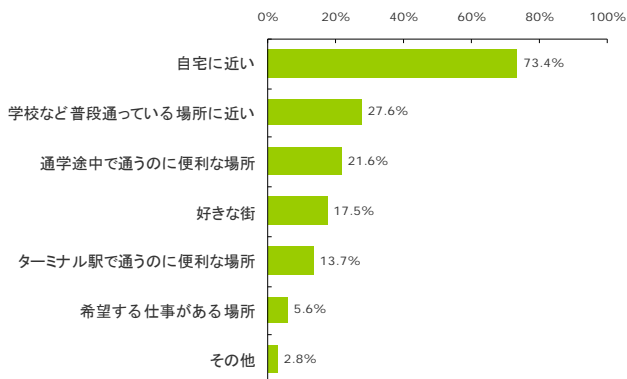
11. 【希望のアルバイト】 勤務地

希望の勤務地は「自宅に近い」場所。

希望の勤務地を挙げてもらったところ、「自宅に近い」が73.4%で最も多く、次いで「学校など普段通っている場所に近い場所」(27.6%)、「通学途中で通うのに便利な場所」(21.6%)となっている。

高校生は大学生に比べ、「自宅近く」での就労を希望する人の割合が高い。一方大学生は、自宅近く以外のエリアでの就労希望者が高校生よりも多くなっており、行動範囲が広い分、就労許容エリア範囲が広いようだ。また男女別に見ると、女子は男子に比べ「好きな街」で働きたい人の割合が高いという特徴が見られる。

Graph11. 希望のアルバイト「勤務地」



[表11]希望のアルバイト「勤務地」(複数回答/単位:%)

注)“-”は該当なし

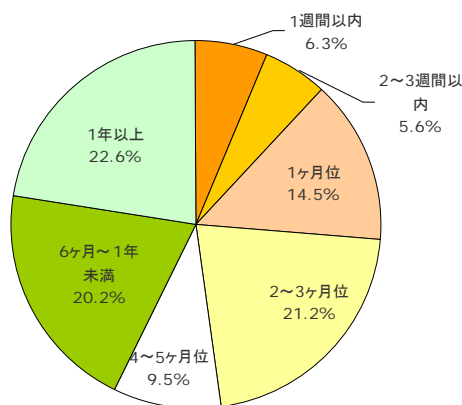
	自宅に近い	学校など普段通っている場所に近い	通学途中で通うのに便利な場所	ターミナル駅で通うのに便利な場所	好きな街	希望する仕事がある場所	その他	
全体	73.4	27.6	21.6	13.7	17.5	5.6	2.8	
属性	高校生	77.8	25.8	20.6	10.7	14.3	4.8	4.0
	大学生	69.0	29.4	22.6	16.7	20.6	6.3	1.6
属性 × 性別	高校生男子	78.6	17.5	16.7	11.9	8.7	3.2	5.6
	高校生女子	77.0	34.1	24.6	9.5	19.8	6.3	2.4
	大学生男子	69.0	27.8	20.6	21.4	13.5	4.8	0.8
	大学生女子	69.0	31.0	24.6	11.9	27.8	7.9	2.4

12. 【希望のアルバイト】 勤務期間

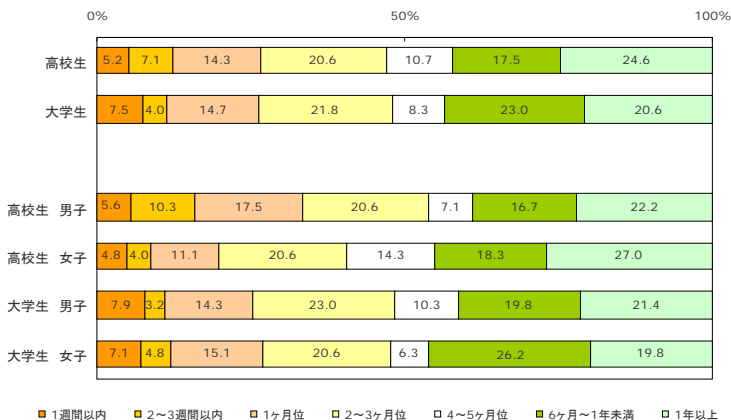
現在と比べ高校生はより長期勤務を、大学生は期間短縮を希望。

希望の勤務期間は、「1年以上」(22.6%)や「6ヶ月～1年未満」(20.2%)の長期勤務希望と、3ヶ月未満の中～短期勤務希望者がほぼ半数に分かれた。全体では実態と比べるとほぼ変わりはないように見られるが、属性別に内容を見てみると、実態と比べて高校生は長期間勤務を、逆に大学生はより短期間勤務を希望する傾向が見られる。高校生は学校等で労働時間に制約が大きく、希望より短期間しか働けないことが伺え、大学生は当初の希望より結果的に長く働いている実態が見られる。

Graph12. 希望のアルバイト「勤務時間」



Graph12-1. 希望のアルバイト「勤務期間」<属性・性別> (単位:%)



Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

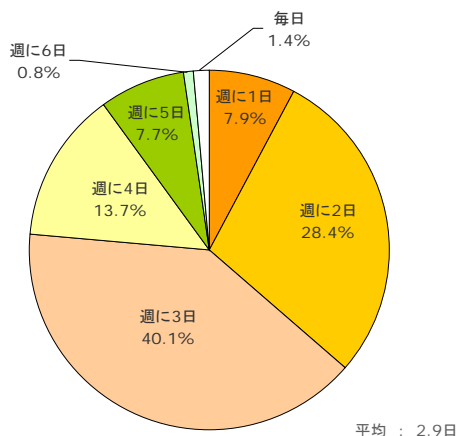
13. 【希望のアルバイト】 希望勤務日数

1週間あたりの希望勤務頻度は平均2.9日。

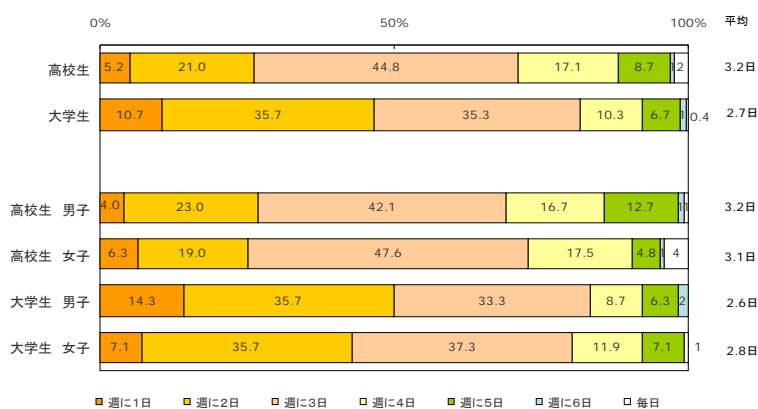
希望の勤務日数を聞いてみたところ、「週に3日」が40.1%で最も多く、次いで「週に2日」が28.4%、「週に4日」(13.7%)となった。希望の平均勤務日数は2.9日と、実際の平均勤務日数(3.0日)と殆ど変わらないことから、勤務日数については概ね希望通りに働くことが出来ている人が多い。

属性別に見ると、高校生は「週に3日」(44.8%)が、大学生は「週に2日/週に3日」がそれぞれボリュームゾーンとなっており、希望平均勤務日数は高校生が3.2日、大学生は2.7日と、高校生の方が0.5日多い。実際の勤務日数と比べてみると、高校生は実際(3.0日)より希望のほうが若干多く、もっと勤務日数を増やしたいと思っているようだ。反対に大学生は、実際(2.9日)よりも希望のほうが少なくなっており、今よりも減らしたいと考えているようだ。

Graph13. 希望のアルバイト「勤務日数」



Graph13-1. 希望のアルバイト「勤務日数」 <属性・性別> (単位:%)



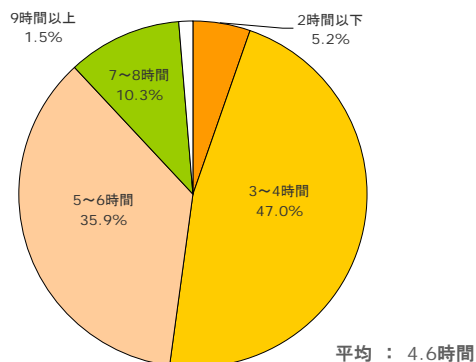
14. 【希望のアルバイト】 勤務時間

一日当たりの希望勤務時間は平均4.6時間。

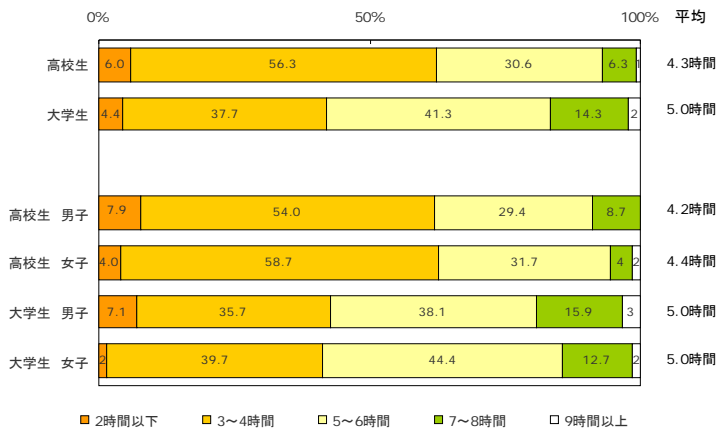
一日あたりの希望勤務時間は、「3~4時間」が47.0%で最も多く、次いで「5~6時間」が35.9%であった。平均希望勤務時間は4.6時間。

属性別に見ると、高校生は「3~4時間」が、大学生は「5~6時間」が最も多くなっており、平均希望勤務時間は高校生4.3時間、大学生5.0時間で、大学生の方が長時間勤務を希望していると考えられる。実態と比べてみると、大学生(5.1時間)はほぼ希望通りに働けているものの、高校生は実態よりも0.7時間短く、勤務時間に関しては希望通りとはなっていないようだ。

Graph14. 希望のアルバイト「勤務時間」



Graph14-1. 希望のアルバイト「勤務時間」 <属性・性別> (単位:%)



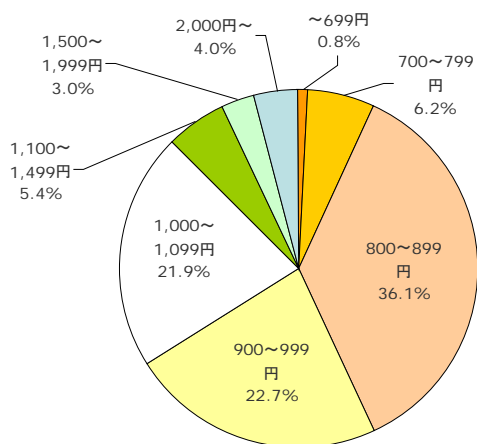
Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

15.【希望のアルバイト】時給

高校生の希望時給は884円。大学生は1,074円。

高校生は「800～899円」が、大学生は「900～999円」「1,000～1,099円」がボリュームゾーンとなっている。平均時給は高校生が884.1円、大学生が1,074.2円と、大学生が高校生を100円強上回っている。

Graph15. 希望のアルバイト「時給」

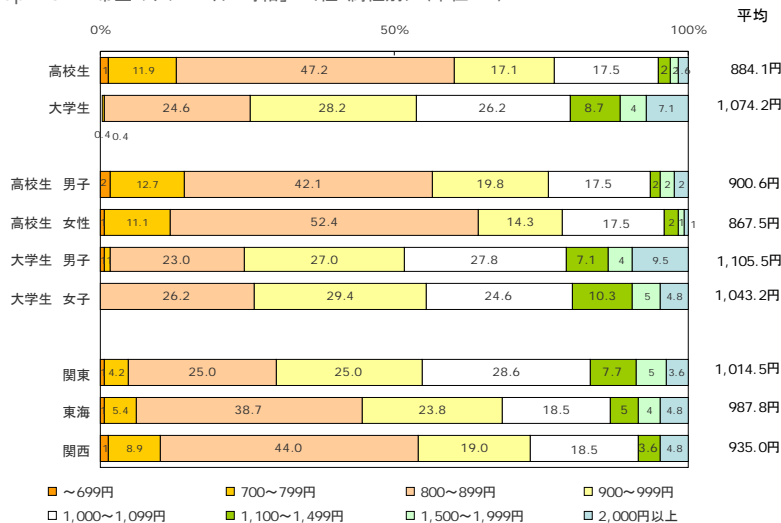


希望時給と実際の時給との差を比べてみると、高校生は現在(815.6円)より約70円高い時給を望んでいるが、大学生は逆に現在(1,110.3円)より約40円少ない時給を望んでいる。

実態を下回る時給を希望する人には、家庭教師など、平均的な職種に比べ飛び抜けて時給の高い職種についている(就いていた)人が多い。家庭教師をしている人が他の職種を希望する割合は約半数に上っており、時給の高い職種に就いている人が、他の平均的な時給の職種を希望していることが、全体の希望平均を実態より下げる要因となっている。

属性別に見ると、高校生女子は「800～899円」の希望者が最も多く、平均希望時給は全ての層の中で最小の867.5円となっている。逆に平均希望時給が最も高いのは、1,000円以上の希望者が約半数を占めている大学生男子で1,105.5円。次いで、大学生女子の1,043.2円となっている。エリア別では、関東エリアが最も高く平均1,014.5円。次いで中部(987.8円)、関西(935.0円)の順となっている。

Graph15-1. 希望のアルバイト「時給」 <性・属性別> (単位:%)



[表15]希望のアルバイト「時給」 (単位:%)

注) “-”は該当なし

	～699円	700～799円	800～899円	900～999円	1,000～1,099円	1,100～1,499円	1,500～1,999円	2,000円以上	希望平均時給(円)	(参考) 現在平均時給(円)
全体	0.8	6.2	36.1	22.7	21.9	5.4	3.0	4.0	1022.0	979.2
属性										
高校生	1.2	12.0	47.4	17.1	17.5	2.0	1.6	1.2	884.1	815.6
大学生	0.4	0.4	24.7	28.3	26.3	8.8	4.4	6.8	1,074.2	1,110.3
属性 × 性別										
高校生男子	1.6	12.7	42.1	19.8	17.5	1.6	2.4	2.4	900.6	829.0
高校生女子	0.8	11.2	52.8	14.4	17.6	2.4	0.8	-	867.5	806.5
大学生男子	0.8	0.8	23.2	27.2	28.0	7.2	4.0	8.8	1,105.5	1,172.6
大学生女子	-	-	26.2	29.4	24.6	10.3	4.8	4.8	1,043.2	1,059.9
エリア										
関東	0.6	4.2	25.0	25.0	28.6	7.7	5.4	3.6	1,014.5	1,041.0
東海	0.6	5.4	38.9	24.0	18.6	4.8	3.6	4.2	987.8	1,011.1
関西	1.2	9.0	44.3	19.2	18.6	3.6	-	4.2	935.0	1,010.9

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

16. 【希望のアルバイト】 アルバイトを決めるときに重視すること

アルバイト選択の際には、「時給(給与)がよい」「アルバイト期間が合う」「1日の勤務時間が合う」を重視。「職場の雰囲気」も重要なポイント。

アルバイトを決めるときに何を重視するかを聞いてみると、最も回答が多かったのは「時給(給与)が良い」で66.1%であった。次いで「アルバイト期間が合う」が51.8%、「1日の勤務時間が合う」(49.6%)、「職場の雰囲気が良さそう」(48.4%)の順となっている。

ただ、実際にアルバイトを決めた理由(→P9.「9.現在(もしくは最も最近)のアルバイトを決めた理由」)は、「時給」よりも「勤務地」が決め手になったという人の方が多くなっていることから、必ずしも「時給」は最終的な決定要因ではないようだ。

[表16-1]アルバイトを探すときに重視すること <属性・性別>※上位5項目

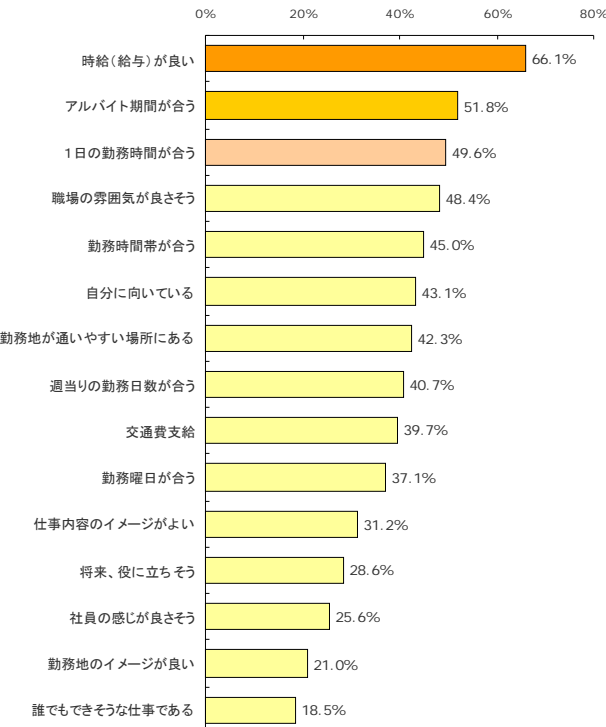
	高校生男子		高校生女子	
1位	アルバイト期間が合う	61.9%	時給(給与)が良い	73.8%
2位	時間(給与)が良い	60.3%	職場の雰囲気が良さそう	63.5%
3位	1日の勤務時間が合う	51.6%	1日の勤務時間が合う	57.1%
4位	職場の雰囲気が良さそう	42.9%	勤務地が通いやすい場所にある	56.3%
5位	自分に向いている	38.9%	自分に向いている	54.8%

	大学生男子		大学生女子	
1位	時給(給与)が良い	57.9%	時給(給与)が良い	72.2%
2位	アルバイト期間が合う	50.8%	職場の雰囲気が良さそう	56.3%
3位	勤務時間帯が合う	42.1%	勤務時間帯が合う	54.0%
4位	1日の勤務時間が合う	38.9%	勤務地が通いやすい場所にある	53.2%
5位	週当たりの勤務日数が合う/勤務曜日 が合う	38.1%	交通費支給/アルバイト期間が合う	52.4%

Graph16. アルバイトを探すときに重視すること (複数回答)
※回答率上位15項目

[表16]アルバイトを探すときに重視すること (複数回答/単位:%)

注)“-”は該当なし



	全体	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
時給(給与)が良い	66.1	60.3	73.8	57.9	72.2
アルバイト期間が合う	51.8	61.9	42.1	50.8	52.4
1日の勤務時間が合う	49.6	51.6	57.1	38.9	50.8
職場の雰囲気が良さそう	48.4	42.9	63.5	31.0	56.3
勤務時間帯が合う	45.0	37.3	46.8	42.1	54.0
自分に向いている	43.1	38.9	54.8	32.5	46.0
勤務地が通いやすい場所にある	42.3	27.8	56.3	31.7	53.2
週当たりの勤務日数が合う	40.7	34.1	46.0	38.1	44.4
交通費支給	39.7	28.6	46.0	31.7	52.4
勤務曜日が合う	37.1	31.7	38.1	38.1	40.5
仕事内容のイメージがよい	31.2	24.6	38.1	21.4	40.5
将来、役に立ちそう	28.6	24.6	32.5	25.4	31.7
社員の感じが良さそう	25.6	24.6	39.7	12.7	25.4
勤務地のイメージが良い	21.0	19.8	31.7	11.9	20.6
誰でもできそうな仕事である	18.5	20.6	27.0	14.3	11.9
長い間勤められそう	17.7	17.5	25.4	8.7	19.0
友人ができてそう	15.1	13.5	23.0	9.5	14.3
自分に身近な仕事である	13.1	9.5	23.8	11.1	7.9
給与が日払い・週払い いろいろ特典がある	9.9	15.1	12.7	8.7	3.2
9.1	7.9	12.7	7.1	8.7	
やったことのない仕事である	8.9	7.9	7.1	7.9	12.7
すぐ辞められそう	6.5	2.4	7.1	7.9	8.7
紹介してくれる人がいる	6.2	6.3	7.1	5.6	5.6
会社の規模が大きい、知名度が高い	4.6	4.0	5.6	4.0	4.8
やったことのある仕事である	2.8	1.6	3.2	3.2	3.2

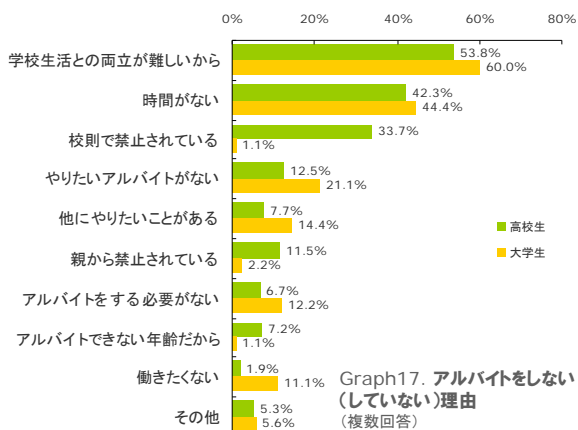
Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

17. アルバイトをしない理由

アルバイト未就労理由のトップは「学校生活との両立が難しい」「時間がない」。高校生は「校則で禁止されている」も。

現在アルバイト未就労者(1.アルバイト就労状況(P4)で、現在アルバイトをしていない、もしくは一度もしていない人)に、何故アルバイトをしていないかを聞いてみると、回答が最も多かったのが「学校生活との両立が難しいから」で55.7%であった。次いで「時間がない」が43.0%、「校則で禁止されている」(23.8%)も上位に上がっている。ただ、「他にやりたいことがある」(9.7%)や「アルバイトをする必要がない」(8.4%)「働きたくない」(4.7%)という「やりたくない・必要ない」という人は少なく、労働時間の調整が取れず、意向はあるができないという人が多いようだ。

属性別では、「学校生活との両立が難しい」「時間がない」の他に、高校生は「校則で禁止されている」、大学生は「やりたいアルバイトがない」が上位に上がっている。



[表17] (現在アルバイト未就労者)アルバイトをしない理由(複数回答/単位:%)

注) “-”は該当なし

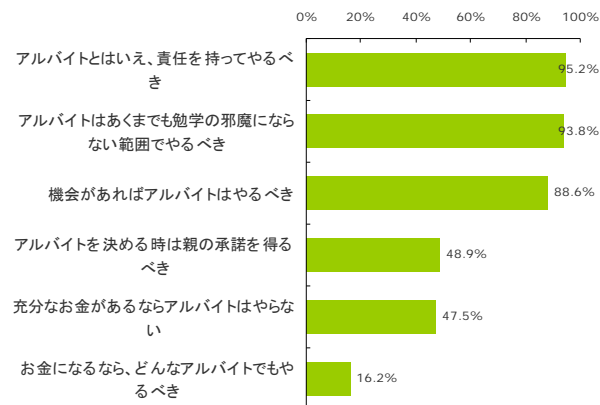
	全体	高校生	大学生	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
学校生活との両立が難しいから	55.7	53.8	60.0	44.4	64.0	54.7	67.6
時間がない	43.0	42.3	44.4	42.6	42.0	43.4	45.9
校則で禁止されている	23.8	33.7	1.1	29.6	38.0	1.9	-
やりたいアルバイトがない	15.1	12.5	21.1	13.0	12.0	22.6	18.9
他にやりたいことがある	9.7	7.7	14.4	11.1	4.0	17.0	10.8
親から禁止されている	8.7	11.5	2.2	12.0	11.0	1.9	2.7
アルバイトをする必要がない	8.4	6.7	12.2	11.1	2.0	15.1	8.1
アルバイトできない年齢だから	5.4	7.2	1.1	9.3	5.0	1.9	-
その他	5.4	5.3	5.6	4.6	6.0	5.7	5.4
働きたくない	4.7	1.9	11.1	1.9	2.0	7.5	16.2

18. アルバイトに対する考え方

アルバイトは、「責任を持ってやるべき」「機会があればやるべき」

アルバイトに対する考え方を聞いてみたところ、「アルバイトとはいえ、責任をもってやるべき」が95.2%で最も多く、次いで「アルバイトはあくまでも勉学の邪魔にならない範囲でやるべき」が93.8%となっている。アルバイトをすることについては、「機会があればアルバイトはやるべき」という人が88.6%と多くを占めている。

Graph18. アルバイトに対する考え方(複数回答)



[表18] アルバイトに対する考え方(複数回答/単位:%)

注) “-”は該当なし

	全体	高校生	大学生	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
アルバイトとはいえ、責任を持ってやるべき	95.2	95.6	94.8	92.8	98.4	93.5	96.0
アルバイトはあくまでも勉学の邪魔にならない範囲でやるべき	93.8	92.0	95.6	93.6	90.5	93.5	97.6
機会があればアルバイトはやるべき	88.6	89.6	87.6	85.6	93.7	80.6	94.4
アルバイトを決める時は親の承諾を得るべき	48.9	68.1	29.6	63.2	73.0	22.6	36.5
充分なお金があるならアルバイトはやらない	47.5	45.0	50.0	50.4	39.7	52.4	47.6
お金になるなら、どんなアルバイトでもやるべき	16.2	17.5	14.8	19.2	15.9	17.7	11.9

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

第2章.フリーターについて

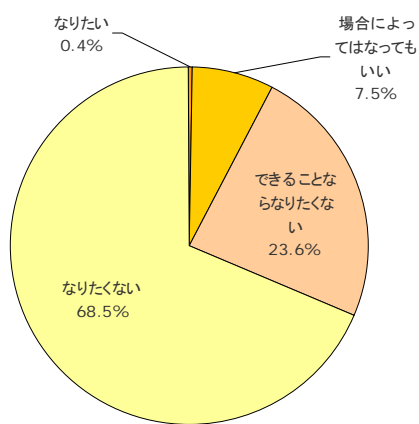
1.フリーター意向

「フリーターにはなりたくない」が大部分。

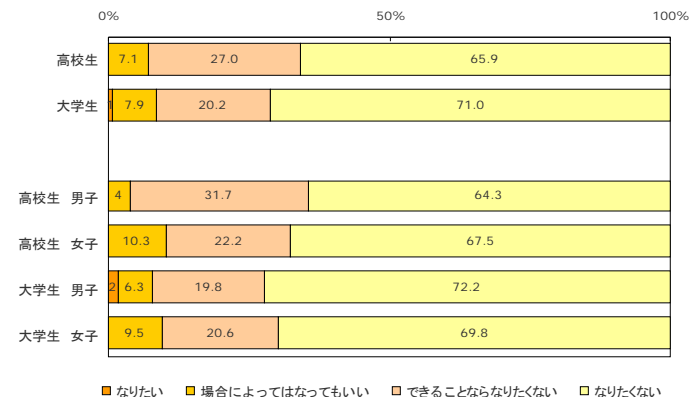
学校を卒業後にフリーターになりたいかどうかを聞いてみると、「なりたくない/できることならなりたくない」を合わせると、全体の9割の人が「なりたくない」と回答している。「なりたくない/場合によってはなってもいい」という人は1割にも満たず、殆どの学生はフリーターにはなりたくないと思っているようだ。但し属性別に見ると、高校生は大学生に比べ「フリーターになってもいい/なりたくない」の回答が多いという特徴が見られ、特に高校生男子では約3割の人が回答している。

Graph1.フリーター意向

(Q.あなたは将来、学校を卒業した後、フリーターになりたいと思いますか?)



Graph1-1.フリーター意向<属性・性別> (単位:%)



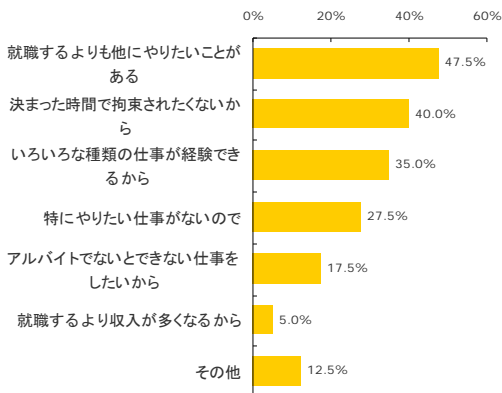
2.「フリーターになりたい」理由

フリーターになりたい理由は「就職するよりも他にやりたいことがある」から。

前項1.「フリーター意向」で、フリーターに「なりたくない」「場合によってはなってもいい」と回答した人にその理由を聞いてみると、最も回答が多かったのは「就職するよりも他にやりたいことがある」で47.5%であった。次いで「決まった時間で拘束されたくないから」が40.0%、「いろいろな種類の仕事が経験できるから」(35.0%)となった。

Graph2.フリーター意向

(Q.フリーターになりたい、もしくはなってもいいと思うのは何故ですか?) (複数回答)



[表2] (フリーター意向者)フリーターになりたい(なってもいい)理由(複数回答/単位:%)

注)“-”は該当なし

	全体	高校生	大学生	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
就職するよりも他にやりたいことがある	47.5	50.0	45.5	20.0	61.5	40.0	50.0
決まった時間で拘束されたくないから	40.0	27.8	50.0	20.0	30.8	60.0	41.7
いろいろな種類の仕事が経験できるから	35.0	33.3	36.4	40.0	30.8	20.0	50.0
特にやりたい仕事がないので	27.5	22.2	31.8	-	30.8	20.0	41.7
アルバイトでないといけない仕事をしたいから	17.5	22.2	13.6	-	30.8	10.0	16.7
その他	12.5	16.7	9.1	60.0	-	-	16.7

Thema-1 [高校生・大学生アルバイト実態調査2006]

第3章 高校生・大学生のライフスタイル

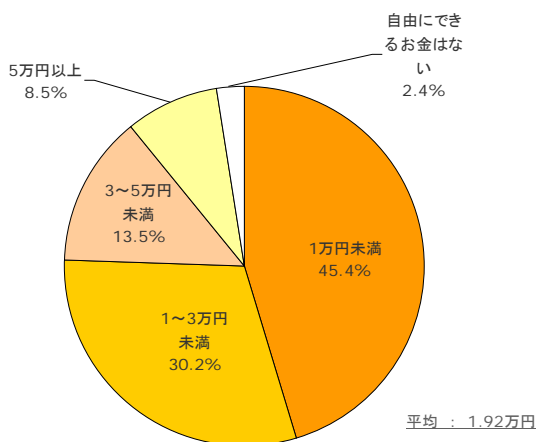
1. 1ヶ月あたりの自由にできるお金

1カ月あたりの自由になる金額は、高校生が平均0.9万円、大学生平均2.9万円。

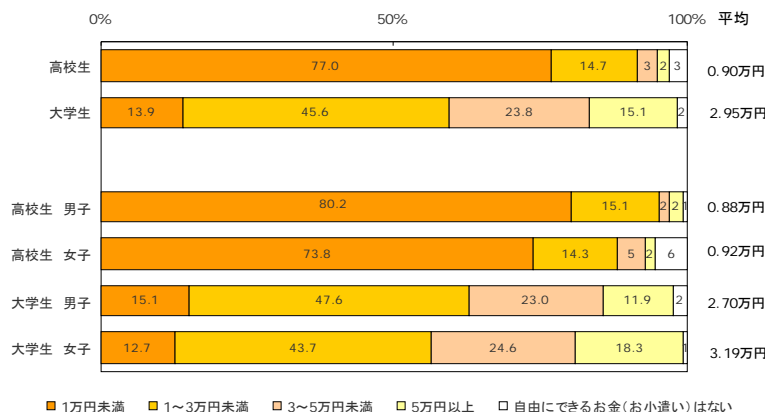
1ヶ月あたりの自由にできるお金(お小遣い)を聞いてみたところ、「1万円未満」が45.4%で最も多く、次いで「1～3万円未満」が30.2%であった。自由にできるお金は平均1.92万円。高校生は現在アルバイトをしている人の割合が約2割と少ないためか、「1万円未満」の割合が約8割を占めている。平均金額は0.9万円。反対に、現在6割の人がアルバイトをしている大学生は、「1～3万円未満」が最も多く、「3～5万円」という人も多い。平均金額は2.95万円と、アルバイトの有無によって自由にできるお金の額に大きな違いが見られた。

Graph1. 1ヶ月あたりの自由にできるお金

(Q.あなたが自由にできるお金(お小遣い)は、1ヶ月あたりどれくらいですか?)



Graph1-1. 1ヶ月あたりの自由にできるお金<属性・性別> (単位:%)

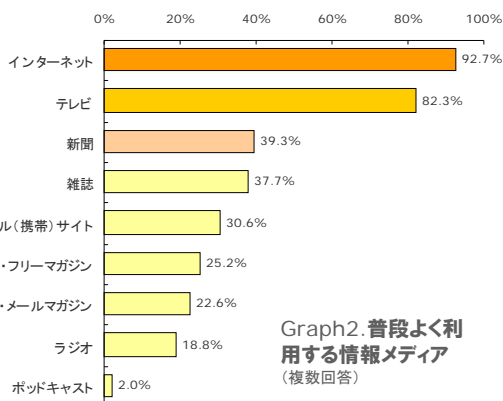


2. 普段よく利用する情報メディア

情報の入手方法は「インターネット」「テレビ」で。

アルバイト情報に限らず、普段よく利用している情報メディアについて聞いてみると、「インターネット」が92.7%で最も多く、次いで「テレビ」が82.3%、「新聞」(39.3%)、「雑誌」(37.7%)、「モバイル(携帯)サイト」(30.6%)の順で多くなっている。

属性別で見ると、全ての属性で1位が「インターネット」、2位が「テレビ」となっている。3位は高校生男子と大学生男子が「新聞」、高校生女子と大学生女子が「雑誌」となっている。その他の特徴を挙げると、女子は男子に比べ利用しているメディアの数が多く(男子3.2個 女子3.9個)、様々なツールを使い情報を仕入れているようだ。



[表2] 普段よく利用する情報メディア(複数回答/単位:%)

注)“-”は該当なし

	全体	高校生	大学生	高校生 男子	高校生 女子	大学生 男子	大学生 女子
インターネット	92.7	91.3	94.0	89.7	92.9	94.4	93.7
テレビ	82.3	84.5	80.2	81.0	88.1	79.4	81.0
新聞	39.3	40.9	37.7	36.5	45.2	38.1	37.3
雑誌	37.7	40.1	35.3	23.8	56.3	29.4	41.3
モバイル(携帯)サイト	30.6	35.3	25.8	28.6	42.1	19.8	31.7
フリーペーパー・フリーマガジン	25.2	21.8	28.6	12.7	31.0	18.3	38.9
メール・メールマガジン	22.6	25.4	19.8	19.0	31.7	21.4	18.3
ラジオ	18.8	20.6	17.1	18.3	23.0	18.3	15.9
ポッドキャスト	2.0	1.2	2.8	2.4	-	2.4	3.2